

川俣町のあゆみ

- S30. 3 1町7村が合併し川俣町となる。人口27,465人、町予算9,400万円でスタート。
- S33. 4 大綱木中が廃止され川俣中学校に統合。
- S36. 9 上水道開設、工事費7,900万円を投じて完成。給水世帯300戸、給水人口1,500人。
- S37. 6 役場新庁舎が落成。鉄筋コンクリート2階建、総面積1,700平方メートル。
- S38. 3 地区農協が合併し、川俣町農協を設立。
- 6 口太山集中豪雨災害。口太山を中心に、1時間に100ミリを超える豪雨により、藤根川が氾濫し、濁流が津波となって大綱木荒町集落を直撃、家屋の倒壊をはじめ、母親と子供2人の生命を奪う。
- 12 川俣方部衛生処理組合を設立。福島市の一部と飯野町の一市二町で、飯坂字壁沢地内に、し尿処理施設を建設。
- S40. 4 小綱木中が廃止され川俣中学校に統合。
- 10 町章制定。合併10周年を記念し、川俣町の「カ」の字を凶案化、飛鳥をかたどり、町民の和と町の発展を象徴したもの。
- S42. 6 乳児保育園開園。町内の働くお母さん方のために、県内市町村では、初のゼロ歳児保育を開始。
- S43.11 福祉センター完成。
- S44. 9 川俣高校、新校舎完成。飯坂字諏訪山に校舎、体育館、グラウンド、プール、野球場が完成。
- 11 川俣町消防団常備部を設置。署長以下9人の消防士でスタート。
- S46. 3 町農協有線放送開始。町内の農家を中心に2,192戸が加入。
- 4 町消防団常備部で救急業務を開始。
- S47. 5 東北本線松川駅から川俣町までの14.5キロを、大正15年以来46年間にわたり、住民の足となって働きつづけた国鉄川俣線が廃止。
- S49. 4 元川俣高校跡地に「川俣中学校」新校舎を建築し、川俣、富田、福田、小島、飯坂の各中学校が統合される。
- S50. 4 広瀬川河川改修に着手。
- S52.11 町の花「やまつつじ」、町の木「かえで」、町の鳥「うぐいす」を制定。
- S54. 1 上水道2次拡張成る。給水世帯3,000戸、給水人口12,800人。
- S55.12 町民の歌制定。作詞 佐藤良筠、作曲 古関裕而。
- 12 豪雪。1メートルを超える積雪により、森林、家屋の被害をはじめ、交通、通信が寸断。
- S56. 3 中央公民館完成。1,000人収容の大ホールその他、視聴覚室、大小研修室を備えた。
- 9 第1回健康づくり大運動会を開催。町民2,000人が参加。
- S58. 5 農村広場オープン。総面積21,000㎡（野球場2面分）の他に、テニスコート3面。
- S58.10 花塚山の中腹に、峠の森自然公園を開設。
- S59. 4 町電算システム稼動。住民記録・国保・年金業務処理を開始。
- S60. 2 川俣方部衛生処理組合のし尿処理場が飯坂下戸山に新築移転。
- 4 川俣小の一部に大綱木小、小綱木小を統合し、川俣南小学校が開校。
- 10 合併30周年を記念し、町民憲章、町のキャッチフレーズを制定。
- S62. 3 川俣小学校がオープンスクールの新校舎と木の体育館に。
- 5 飯坂地区営農飲雑用水（簡易水道）通水。給水世帯114戸、給水人口664人。
- S63.11 かわまたおりもの展示館オープン。
- H元. 3 鶴沢・小神小学校廃校。
- 4 富田小学校開校。
- H 2. 3 小島小学校改築完成。
- 4 川俣町老人福祉センター完成。
- 5 花塚山探勝路。
- H 3. 3 銘品館シルクピア完成。
- H 4. 8 中央公園小手姫像建立。
- 9 J A川俣飯野合併。
- H 5. 3 川俣町体育館完成。
- 3 峠の森そば打ち体験施設完成。
- H 6. 3 川俣町合宿所完成。
- 3 絹の里友♡ゆう♡プール完成。
- 5 道の駅川俣開所。
- H 7. 3 からりこ館完成。
- 6 国道114号川俣バイパス供用開始。
- 10 ふくしま国体（フェンシング競技開催）
- H 8. 3 山木屋小学校改築完成。
- 3 山木屋教育交流促進センター完成。
- 10 山木屋小学校体育館完成。
- H 9.12 川俣警察署改築移転。
- H10. 1 保健センター樋ノ口へ移転。
- 3 国道349号川俣バイパス供用開始。
- H11. 1 アルゼンチン共和国・コスキン祭ヘミッション団派遣。
- 10 済生会川俣病院改築移転。